

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
ルネサンス デザイン・美容専門学校		平成7年3月20日		中野 勤次郎		〒 430-0943 (住所) 静岡県浜松市中央区北田町130-12 (電話) 053-452-2121		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人爽青会		平成20年3月21日		理事長 中野 勤次郎		〒 430-0943 (住所) 静岡県浜松市中央区北田町130-12 (電話) 053-452-2121		
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度	
文化・教養	専門課程(文化・教養関係)		イラストレーション科		平成30(2018)年度	-	令和 1(2019)年度	
学科の目的	イラスト制作会社や現役イラストレーター・漫画家との合同授業により、多彩な表現力とオリジナリティー溢れる発想力を身に付け、想いをカタチに出来るイラストレーター・漫画家の育成							
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	取得可能資格:カラーデザイン検定3級/Photoshop®クリエイター能力認定試験/Illustrator®クリエイター能力認定試験/ビジネス著作権検定							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入		単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
		124 単位		31 単位	単位	93 単位	単位	単位
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)	中退率		
150 人	98 人		0 人		0 %	2 %		
就職等の状況	■卒業者数(C)		48		人			
	■就職希望者数(D)		47		人			
	■就職者数(E)		47		人			
	■地元就職者数(F)		29		人			
	■就職率(E/D)		100		%			
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		62		%			
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		98		%			
	■進学者数		0		人			
	■その他							
	(令和 7 年度卒業者に関する令和 8 年 5 月 1 日時点の情報)							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価:				無			
	※有の場合、例えば以下について任意記載							
当該学科のホームページURL	評価団体:		受審年月:		評価結果を掲載したホームページURL			
	https://www.rad.ac.jp/illustration/							
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)							
	総授業時数				単位時間			
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数				単位時間			
	うち企業等と連携した演習の授業時数				単位時間			
	うち必修授業時数				単位時間			
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数				単位時間			
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数				単位時間			
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)				単位時間			
	(B: 単位数による算定)							
	総単位数				124 単位			
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数				18 単位				
うち企業等と連携した演習の単位数				0 単位				
うち必修単位数				89 単位				
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数				3 単位				
うち企業等と連携した必修の演習の単位数				0 単位				
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)				0 単位				
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者(専修学校設置基準第41条第1項第1号)				2 人			
	② 学士の学位を有する者等(専修学校設置基準第41条第1項第2号)				1 人			
	③ 高等学校教諭等経験者(専修学校設置基準第41条第1項第3号)				0 人			
	④ 修士の学位又は専門職学位(専修学校設置基準第41条第1項第4号)				1 人			
	⑤ その他(専修学校設置基準第41条第1項第5号)				1 人			
	計				5 人			
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数				5 人			

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。・「日本人ならではの徳性・新旧の美意識に学び、日本流・新デザインを世界に問う」ことの出来る人材を育成する。・「就職後にこそ伸びしろのある」人材育成のために、現場主義に基づいた表現力と最新の技術教育を行う。・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
委員会はルネサンス デザイン・美容専門学校 的教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和8年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
中野 勘次郎	ルネサンス デザイン・美容専門学校 学校長	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
中野 良太	学校法人爽青会 副理事長	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
藤原 研一	ルネサンス デザイン・美容専門学 教頭	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
大城 陽功	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
岩田 俊太郎	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
相原 和晃	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
寺田 朱里	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
大田 尚作	神戸芸術工科大学 名誉教授	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	②
関田 有應	株式会社フェローズ シニアプロデューサー	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
(年間の開催数及び開催時期)
年2回(12月、3月)

(開催日時(実績))
第1回 令和7年12月8日14:00～15:30／12月12日14:00～16:00
第2回 令和8年3月12日14:00～16:00／3月27日14:00～16:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

2026年度に向けて、就職指導の質向上とそれに関連する教育のあり方を大きなコンセプトとして、以下の3点を中心に①『クリエイティブ業界への就職指導の在り方と業界の実情』②『モーション(2D・3D)職の指導について』③『学校としての生成AIとの向き合い方』ゲーム・映像分野、キャリアアドバイザー(クリエイティブ業界特化)、大学、それぞれの視点からご意見を伺った。①については、早期化している業界の動向の最新情報をキャッチアップする点でキャリアアドバイザーの有用性を確認できた。また、キャリア形成については低学年から行う重要性を指摘され、自己分析、ポートフォリオ作成などを早い段階から積み上げていくことを学生のレベルに応じて進めていくことをアドバイスいただけた。また、受け身の学生が多いことは、大学や企業でも課題としており、能動的な学生との2極化が進むことが懸念されている。課題の出し方など工夫することもアイデアとして提示された。②については、より総合的な人材が求められており、モーションであれば2D・3Dともに理解し扱える需要がますます高まっていることが確認でき、3Dモデリングだけでは競争率が高く難しいとのことであった。③については、最終の制作物には使わない・商品には使えないものの、生成ではないAIを中心に補助ツールとして業務になじみ始めている実情があるということが確認できた。学校としては、まだ慎重な対応が求められるが、ますます避けては通れなくなっている面もあり、慎重にルールを定め、リテラシー教育が出来るかというのではないかとのご意見であった。①②については、特に新年度の指導や授業・カリキュラムに反映していける具体的なお意見が伺えた。引き続き、従来の制作力から広がり、より実践力を育み、現場で柔軟的に力が発揮できる人材を輩出できる学科としていく。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実際にイラスト・デザイン・マンガといったクリエイティブの実務に関連した企業や社会人教育に関連する企業を選定し連携する。学生のクリエイティブスキルや社会人能力を実践的に向上させるとともに、各業界で活かす手段・方法を具体的に学ぶことが出来る授業を依頼する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

クリエイター能力認定試験対策では、検定試験の対策授業を行う中で、クリエイティブ業界や関連業界で必須となるPhotoshopとIllustratorのオペレーション力を養う。指導と評価は検定指導実績がある講師が行い、(1)オペレーション力(2)納期の観点で評価される。[マンガ専攻]ネーム研究実習Ⅰ・Ⅱでは、読者目線に立ち、設定や物語の骨子を作れるよう、プロの原作者から指導を受け、構成力を向上させる。評価は実務者目線から行い、(1)企画力(2)ビジュアルコミュニケーション(3)商品力(4)納期の観点で評価される。[デザイン専攻]企業コラボⅠでは、デザイン・クリエイティブ業界から地元や業界で活躍する現役クリエイターを招き、講話とワークショップをセットにした特別授業を実施している。現場で求められるスキルや考え方を学び、デザイナーの職業観を養い、就職につなげていく。(1)企画力(2)ビジュアルコミュニケーション(3)商品力(4)納期の観点で評価される。ビジネストレーニングⅡでは、すべての業界で必要となる社会人力、コミュニケーション力、自己アピール力を、対話を中心にした指導で培っていく。評価は、人材派遣・採用者目線で行われ(1)社会教養(2)情報収集・活用(3)キャリア研究(4)文章力の観点で評価される。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連 携 企 業 等
クリエイター能力認定試験対策	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	Photoshop、Illustratorの認定試験(スタンダード)合格をめざす中で、Photoshop、Illustratorのオペレーション力を確かなものにします。	HYRS/パソコン教室 学習塾
[マンガ専攻]ネーム研究実習Ⅰ	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	マンガ制作の重要な要素の1つである「シナリオ」について学ぶ授業です。オリジナルのキャラクター・場面を確実に設定し、物語の骨子を作れるように学びます。また、構成の基礎を習得することで、読者に伝わる読切作品制作につなげます。	合同会社スタジオけるける
[マンガ専攻]ネーム研究実習Ⅱ	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	マンガ制作の重要な要素の1つである「シナリオ」について学ぶ授業です。2年次に学んだ構成力をより向上させ、プロレベルを見据えた質の高い読切作品制作を可能にする技術を身につけます。	合同会社スタジオけるける
[デザイン専攻]企業コラボⅠ	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	企業や団体とコラボレーションしてデザインの現場を実践的に学びます。ポスター、チラシ、看板、イベント運営等を企画制作からプレゼンテーションまでトータルに学んでいきます。	むすびめコミュニケーションクリエイツ株式会社
ビジネストレーニングⅡ	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	就職活動の基となる業界・企業研究や自己分析を通して、希望する企業に対してより適切な自己アピールができる力を学びます。	株式会社ヒューマンアロー

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	ゲーム業界説明会&ゲーム企業視察	連携企業等:	都内ゲーム企業
期間:	2025年4月3日	対象:	イラストレーション科担当の常勤教職員
内容	イラストレーション科の多くの学生が目指す先となるゲーム企業を学生の引率研修と合わせて視察した。学生には、将来の目標をより明確にもたせ、業界で働く姿をイメージしやすく出来るよう事前と事後に指導を行った。実際の現場を見、企業側の話を聞くことで、業界の現状を知ることが出来た。また、専門分野の技術指導だけでなく、キャリア指導に必要なことを見出し、数年後を見据えた学生指導につなげられるように、ゲーム業界の今と将来について学ぶ機会と出来た。		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	なごやデザインスクール vol.03 ミッション・ビジョンをデザインする	連携企業等:	公益財団法人名古屋産業振興公社 国際デザインセンター
期間:	2025年9月22日	対象:	イラストレーション科担当の常勤教職員
内容	学科が「事業を通じて社会にどんな価値を届けようとしているのか」を掘り下げ、自身が持つ価値を整理することで、教育や募集活動への課題を見出し、学生のニーズを踏まえた教育活動につなげることが出来た。		

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	ゲーム企業視察&ゲーム企業・業界説明会	連携企業等:	複数の都内ゲーム企業
期間:	2026年4月～8月にかけて	対象:	イラストレーション科担当の常勤教職員
内容	イラストレーション科の多くの学生が目指す先となるゲーム企業を学生の引率研修と合わせて視察する。また、学生向けにゲーム企業による企業・業界説明会を実施する。学生と共に、実際の現場を見、企業側の話を聞くことに加え、情報交換など行うことで、業界の現状を知るとともに、技術指導だけでなく、キャリア指導に必要なことを見出し、数年後を見据えた学生指導につなげられる機会とする。		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	体系的カリキュラム・シラバス作成(インストラクショナル・デザイン)	連携企業等:	株式会社 ウチダ人材開発センタ
期間:	2026年8月31日	対象:	イラストレーション科担当の常勤教職員
内容	学生により分かりやすく効率的に学べるカリキュラム・シラバスを作成する手法を学び、この手法を活かした効果的、効率的、魅力的なカリキュラム・シラバス・教材を設計・開発できるようにする。		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針
就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	(11)国際交流(必要に応じて)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況
評価結果を学校長に報告の上、教務統括部長が中心となりプロジェクトチームを組んで改善を図り、次回学校関係者評価委員会にて報告している。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 副会長	令和7年4月1日～令和9年3月31日	業界・団体
望月智	株式会社ジェットスタジオ 取締役	令和7年4月1日～令和9年3月31日	企業等
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和7年4月1日～令和9年3月31日	企業等
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事	令和7年4月1日～令和9年3月31日	業界・団体

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: https://www.rad.ac.jp/html/document/document/report_rad2025.pdf
公表時期: 2026年6月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革(公式WEBサイト)
(2)各学科等の教育	学科紹介(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(3)教職員	講師・設備(公式WEBサイト)
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職実績(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(5)様々な教育活動・教育環境	授業ブログ(公式WEBサイト)
(6)学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ(公式WEBサイト)
(7)学生納付金・修学支援	募集要項(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(8)学校の財務	財務計算に関する書類(公式WEBサイト)
(9)学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書(公式WEBサイト)
(10)国際連携の状況	—
(11)その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他(説明会での説明))

URL: <https://www.rad.ac.jp/document/>

公表時期: 随時

授業科目等の概要

(専門課程(文化・教養関係) イラストレーション科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員 兼 任	企業等との 連携	
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実	校内	校外			
1	○			清掃と挨拶Ⅰ	学生自身の「ジブン価値」を発見・向上 (UP) させ、自立・自活した「卒業後に真に役立つ人材、自ら問題解決が出来る人材」へと成長するために、「社会力」と「人格を高める」カリキュラム、「本校の使命」に明示された心得や良き習慣を、双方向体験学習・映像・学外見学などの多様な教育手法を用いて学びます。	1		1		○	○					
2	○			キャリア研究・LHRⅠ	学生自身の「ジブン価値」を発見・向上 (UP) させ、自立・自活した「卒業後に真に役立つ人材、自ら問題解決が出来る人材」へと成長するために、「社会力」と「人格を高める」カリキュラム、「本校の使命」に明示された心得や良き習慣を、双方向体験学習・映像・学外見学などの多様な教育手法を用いて学びます。	1		4	○			○		○		
3	○			ルネサンス・メソッド	学生自身の「ジブン価値」を発見・向上 (UP) させ、自立・自活した「卒業後に真に役立つ人材、自ら問題解決が出来る人材」へと成長するために、「社会力」と「人格を高める」カリキュラム、「本校の使命」に明示された心得や良き習慣を、双方向体験学習・映像・学外見学などの多様な教育手法を用いて学びます。	1		1	○			○		○		
4	○			ビジネストレーニングⅠ	ビジネスマナーやビジネス文書、メール連絡など社会人として必要となる常識を身に付け、インターンシップを始めとした就職活動の準備を行います。	1		2	○			○			○	
5	○			色彩論	色相・明度・彩度・トーン・配色といった色彩に関する基礎理論を学び、カラーデザイン検定3級合格を目指す。世界標準のカラーシステム「PANTONE」を基準に、実践的に学びます。ここで得た知識は、あらゆるイラスト・デザイン制作に応用していきます。	1		1	○			○		○		
6	○			美術・デザイン史	絵画・彫刻・建築・服飾などの各分野における近現代の美術・デザインの作品や思想を学ぶことで、普遍的な価値観や現代デザインの方向性、審美眼を磨きます。	1		2	○			○		○		
7	○			デッサンⅠ	観察力を養い、物の陰影を面で捉え、立体的に描画するための技術や、正確に形や構図をとる技術を学びます。静物を中心に徹底的にデッサンを行い、イラストレーション制作における基礎を身に付けます。	1		3			○	○		○		
8	○			デジタルイラストⅠ	主にCLIP STUDIO PAINT、Photoshopの基本的な使い方を習得する授業です。各ソフトを用い、デジタルイラストを描く上で、最低限必要な表現技法、技術、知識を学びます。	1		3			○	○			○	
9	○			キャラクターデッサンⅠ	クロッキーをベースとして、全体を見る力を養い、人体やキャラクターをバランスよく描くための基本的なルールや技術を学び、イラストに適した人体描画の基礎を身に付けます。	1		3			○	○		○		
10	○			イラストレーションゼミⅠ	イラスト・アニメーション・デザイン・映像作品などで、今、活躍中のクリエイターをゲスト講師として招待し、プロになるためのセルフブランディング手法や、独自の表現技法を、実例や具体的なエピソードを通して実践的に学びます。	1		3			○	○		○	○	
11	○			修了制作Ⅰ	各自コースを選択し、各コースで設定されたテーマに基づき総合的な制作を行い、1年間の集大成となる作品制作を行います。これにより2年次への進級認定を受けます。	1		5			○	○		○		
12	○			パース・背景作画基礎	アイレベルや消失点といったパースの基本原則に始まり、レイアウトのルールやパターンを学びます。人物が入った背景を違和感なく描くための基礎知識を習得し、背景作画のためのベースをつくります。	1		1			○	○		○		
13	○			DTPⅠ	デザイン (特にレイアウト) の基本ルールを学びます。そして、あらゆるデザイン業務で必要となるIllustrator、Photoshopの使い方を学び、DTPの技術を初歩から習得します。また、名刺やチラシ等の制作を通して印刷に関する基礎知識も身に付けます。	1		3			○	○		○		
14	○			マンガ表現基礎Ⅰ	CLIP STUDIO PAINTでのデジタルマンガ作画的基礎技術を習得する授業です。機能を学ぶ過程で、ベタやトーンの効果的な使い方やモノクロのバランスについても学び、マンガだけでなくモノクロイラストの作画・仕上げの技術習得へとつなげていきます。	1		1			○	○			○	
15	○			アナログイラスト	アナログ画材 (コピックや水彩絵の具、色鉛筆など) と紙の特性を知り、表現技術を学ぶ中でメッセージ力を高めるための適切な画材選択、イラスト制作を実現します。	1		1			○	○			○	
16	○			3D基礎	3DCG制作ソフト「Maya」の基本オペレーションの習得を通じて、3DCG制作の基礎となる考え方を学び、幅広い業界で使われている3DCGの技術を初歩から習得します。	1		2			○	○		○		
17	○			[イラスト/マンガ専攻]DTP (Ps)	イラストやマンガ制作に活かせる加工やゲームなどの画面制作で用いるPhotoshopのスキルを中心に画像加工やパーツ制作の技術を学習します。	1		1			○	○		○		
18	○			[デザイン専攻]DTP (Ai)	レイアウトや、色、文字・文章、画像の扱いなど、デザイン全般のルールを制作を通じて学びます。Illustratorのスキルを中心に基礎デザイン力を更に積み上げます。	1		(1)			○	○		○		
19	○			[イラスト/デザイン専攻]UIデザイン基礎	誌面やパッケージに掲載されるカットやキャラクターを募集したイラスト制作を行います。実際の仕事では、条件や注文に応じて、幅広い絵柄や画風で描くことが必要であることを理解し、そのために必要な技術や考え方について学びます。	1		1			○	○		○		
20	○			[イラスト専攻]3D基礎	3DCG制作ソフト「Maya」の基本オペレーションの習得を通じて、3DCG制作の基礎となる考え方を学び、幅広い業界で使われている3DCGの技術を初歩から習得します。	1		(1)			○	○		○		
21	○			[マンガ専攻]マンガ表現基礎Ⅱ	マンガ制作における基礎技術を総合的に学べる授業です。ストーリー構成・キャラクターメイキング・作画など、同人誌制作やSNS発信からプロを目指すために必要な技術を目的に応じて幅広く学びます。	1		(1)			○	○		○		
22	○			清掃と挨拶Ⅱ	校訓である「明るいきれいな、人より早く」「使う前よりきれいな、トイレ清掃」や、日頃の清掃・整理整頓を実践し、社会で真に役立つ人材・自ら問題解決が出来る人材となることを目指します。	2		1			○	○		○		
23	○			キャリア研究・LHRⅡ	キャリア研究では、5年後10年後の目標に向けた職業計画や、自分自身の過去を振り返っての自己分析を行います。また学んだことを活かす職種や業界の研究を行い、就職活動に活かします。LHRでは学校行事やクラス内イベントの準備、スケジュールや連絡事項の確認を行います。	2		4	○			○		○		
24	○			ビジネストレーニングⅡ	就職活動の基となる業界・企業研究や自己分析を通して、希望する企業に対してより適切な自己アピールができる力を学びます。	2		3	○			○			○	
25	○			比較文化研究Ⅰ	海外授業で訪問する国を題材に、地理や歴史、固有の文化とデザインの関係性について研究をすることで渡航前の事前学習を行います。また日本文化や自分達の作品紹介・プレゼンを通して、渡航先の学生との異文化交流を行うための準備を行います。	2		4	○			○		○		
26	○			著作権検定対策	著作権に関する基礎的な知識を学ぶことで、イラストの正しい運用方法に活かします。正しい著作権の知識により、自分のイラストが使われたり、資料を扱う際のトラブルを未然に防いだり、問題発生時の対応を適切に行うことが出来ます。	2		1	○			○		○		
27	○			クリエイター能力認定試験対策	Photoshop、Illustratorの認定試験 (スタンダード) 合格をめざす中で、Photoshop、Illustratorのオペレーション力を確かなものにします。	2		3			○	○			○	

28	○	企画制作演習	決められたテーマに沿って、グループでの企画立案、企画書作成、プレゼンテーションまでを行います。データ収集やリサーチ等、企みの説得力を高める方法、相手に伝わる企画書などの企画力を目指します。	2	1	○	○	○	○
29	○	ポートフォリオ編集	卒業後の活動も見据え、作品を含め、自分自身の発信方法を学び、就職活動や持ち込み活動に活かします。	2	1	○	○	○	○
30	○	修了制作Ⅱ	各専攻ごとに、総合的なイラスト・デザイン・マンガ分野の制作を行い、2年間の集大成となる作品制作を行います。これにより3年次の進級認定を受けます。	2	6	○	○	○	○
31	○	海外授業Ⅰ	海外のイラスト・デザイン・マンガが文化を体験します。渡航先での美術館・博物館など専門施設の視察、言葉やイラストの素材となる人々の暮らしや風景の体感、現地大学での交換授業等、現地でも専門分野の授業を経て、帰国後のレポート提出までを単位とします。2次は、海外文化を「吸収」することを目的とします。	2	2	○	○	○	○
32	○	【イラスト/マンガ専攻】3D応用	3D基礎で学んだ3DCG制作ソフト「Maya」の基礎技術を定着させ、応用技術を習得します。3DCG制作についての理解を深め、制作物の幅を広げることにつなげます。	2	3	○	○	○	○
33	○	【デザイン専攻】DTPⅡ	タイポグラフィについて学び、文字・書体の基礎知識や文章構成の基本ルールを身につけます。デザインで欠かせない適切な書体選び、読みやすいレイアウト構成の実現を目指します。	2	(3)	○	○	○	○
34	○	【イラスト専攻 選択】イラストレーションゼミⅡ	イラスト・アニメーション・デザイン・映像作品などで、今、活躍中のクリエイターをゲスト講師として招招し、プロになるためのセルフブランディング手法や、独自の表現技法、実例や具体的なエピソードを通して実践的に学びます。	2	3	○	○	○	○
35	○	【イラスト専攻 選択】3Dゼミ	3D基礎で学んだことを踏まえ、3DCGの表現力をより高めるとともに、実践的に3D制作技術を学びます。	2	(3)	○	○	○	○
36	○	【デザイン専攻】企業コラボⅠ	企業や団体とコラボレーションしてデザインの現場を実践的に学びます。ポスター、チラシ、看板、イベント運営等を企画制作からプレゼンテーションまでトータルに学んでいきます。	2	(3)	○	○	○	○
37	○	【マンガ専攻】マンガ制作ゼミⅠ	投稿や持ち込みを目標に、期間を定め、年間通して複数本の読切マンガ制作を行います。制作を通じて、作画だけでなくスケジュール管理など、マンガ制作全般に求められるノウハウを実践的に学びます。	2	(3)	○	○	○	○
38	○	【イラスト/マンガ専攻】キャラクターデザインⅡ	表情やポーズといったキャラクター表現を学ぶ中で、キャラクターデザイン、キャラクター作画で求められる人体構造やバランスを理解します。	2	3	○	○	○	○
39	○	【デザイン専攻】ブランディングⅠ	商品やサービスをユーザーに効果的かつ魅力的に伝えるために、何を考え、制作しなければいけないか、どのように解決すればいいのかといった考え方や方法を学び、候補例や候補感があるデザイン制作のためのベースを身に付けます。	2	(3)	○	○	○	○
40	○	【イラスト/マンガ専攻】パース・背景作画応用	パースやレイアウトのルールを学ぶとともに、その定着を目的に、人物が入った室内や屋外など様々な背景作画的トレーニングを行います。CLIP STUDIO PAINTの機能を用いた、イラストやマンガで使える実践的な背景作画技術の習得へとつなげます。	2	3	○	○	○	○
41	○	【イラスト専攻】モーション実践	3Dモーションを中心に、「Maya」のオペレーション力を高めるとともに、アニメーションの基本原則を学び、ユーザーに心地よいキャラクターモーションとカメラワークの実現を目指します。	2	(3)	○	○	○	○
42	○	【デザイン専攻】WEBⅠ	HTMLのコーディング、スマホ・PC特有の比率による見やすさに配慮したレイアウトデザイン方法、webページ特有のフォーマット保存形式など、webサイト制作に必要な基礎知識を学び、基本的なページ制作ができるようになります。	2	(3)	○	○	○	○
43	○	【イラスト専攻】デジタルイラストⅡ	1年次に学んだCLIP STUDIO PAINT、Photoshopを用いた実践的なノウハウ、テクニク（キャラクター・背景共に）を学びます。ものの形とより方や逆色の意味を考え、自身の制作意識を深め、意図のあるイラスト制作を目指します。	2	3	○	○	○	○
44	○	【デザイン専攻】レイアウトⅠ	紙面デザインにおけるレイアウトの基本ルールと制作の流れを、ポスターやチラシ、DMなどの制作を通じて身に付けます。	2	(3)	○	○	○	○
45	○	【マンガ専攻】マンガ表現応用Ⅰ	より広い読者に受け入れられるマンガ表現を実現するため、人物の表情や心理描写、情景描写など、人物と背景作画的表現技術や演出方法を学びます。この中で基礎力を高め、仕上げるの完成度を上げ、マンガの質をより高めることを目指します。	2	(3)	○	○	○	○
46	○	【イラスト専攻 選択】デッサンⅡ	デッサン1で学んだことをベースに、より複雑なモチーフに向き合い、観察力や描画力の更なる向上を目指します。ゲーム美術、イラスト制作に必要とされる、面白いデッサン作品を制作し、ポートフォリオに入れることは、多くの企業で求められます。このための制作も見据えた指導を行います。	2	3	○	○	○	○
47	○	【イラスト専攻 選択】2Dモーション基礎	2Dアニメーションの基本原則を学び、ゲーム用2Dアニメーションソフト「Spine」の基本オペレーションを習得し、ユーザーに心地よいキャラクターモーション制作の実現を目指します。	2	(3)	○	○	○	○
48	○	【デザイン専攻】マルチメディアⅠ	グラフィックデザイン専攻で必須となる写真撮影・映像撮影の基礎を学びます。撮影した写真や映像に的確な効果・効果を加え、使用されるメディアに応じた適切なコンテンツ制作を履修する技術を身に付けます。	2	(3)	○	○	○	○
49	○	【マンガ専攻】ゲーム研究実習Ⅰ	マンガ制作の重要な要素の一つである「シナリオ」について学ぶ実習です。オリジナルのキャラクター・構図を構築し、物語の骨子を作れるように学びます。また、構成の基礎を習得することで、読者に伝わる読切作品制作につなげます。	2	(3)	○	○	○	○
50	○	清掃と挨拶Ⅲ	校則である「明るくあいさつ、よく早く」「使う前よりきれいな、トイレ清掃」や、「日頃の清掃・整理整頓を実践し、社会で真に役に立つ人材、自ら問題解決が出来る人材となること」を目指します。	3	1	○	○	○	○
51	○	キャリア研究・LHRⅢ	キャリア研究では、5年後10年後の目標に向けた職業計画作り、自分自身の過去を振り返っての自己分析を行います。また、学んだことを活かす職業や業界の研究を行い、就職活動に活かします。LHRでは学校行事や授業内イベントの準備、スケジュールの作成・管理の確認を行います。	3	4	○	○	○	○
52	○	社会人トレーニング	自立した生活を送るための知識や、働く上で必要となる社会人基力「1「断りに断り出す力」、2「主体的、実行力」、3「責任感」、4「想像力、計画性」、5「チームで働く力」、6「柔軟性」、7「ストレスコントロールなど」を満遍なく身に付けます。	3	3	○	○	○	○
53	○	比較文化研究Ⅱ	海外授業で得た経験を持ち寄り、海外と日本の文化の相違点や共通点を整理し、発表を行います。思いだけでなく、客観的に視座を見出し、世界を意識したイラスト・デザイン・マンガが制作について考え、卒業後の仕事に活かせるようにします。	3	1	○	○	○	○
54	○	卒業制作	3年間の集大成となる総合的な作品制作ならびに展示を行い、卒業認定に必要な評価を受けます。	3	9	○	○	○	○
55	○	海外提携	海外授業と連携し、「渡航する国」で「企画・実行・実行」することを目的としたカリキュラムです。渡航先の教育機関などと連携し、これまで学んできた技術を活かした日本流の制作を実現して実績とするため、企画・制作・プレゼン準備を計画的に実施します。	3	3	○	○	○	○
56	○	海外授業Ⅱ	海外の文化や考え方を体験する授業です。渡航先での美術館・博物館など専門施設の視察、現地大学等での交換授業等を経て、帰国後のレポート提出までを単位とします。各専攻の技能をいかした日本流の企画・提案を、渡航先で実践することを目的とします。	3	2	○	○	○	○
57	○	自主学習	本校では3年間を通じて多様な科目、多くの技術を学ぶため、1学期に1教科目を履修する自主学習制度があります。教員もそれぞれの特性を活かし、サポートにあたります。主に、読書の楽しさを見据えた制作を行います。	3	4	○	○	○	○

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
ルネサンス デザイン・美容専門学校		平成7年3月20日		中野 勤次郎		〒 430-0943 (住所) 静岡県浜松市中央区北田町130-12 (電話) 053-452-2121		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人爽青会		平成20年3月21日		理事長 中野 勤次郎		〒 430-0943 (住所) 静岡県浜松市中央区北田町130-12 (電話) 053-452-2121		
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度	
文化・教養	専門課程(文化・教養関係)		ブライダル・トータルビューティーク		平成29(2017)年度	-	平成26(2014)年度	
学科の目的	的 お客様の美を引出し、最高のステージに送り出すための美容技術や接客マナー、ブライダル知識をトータルで身に付けたブライダルプランナー・ビューティーアドバイザー・エステティシャン・ファッションアドバイザーを育成する。							
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	取得可能資格: シュウウエムラメイクアップ技術検定/ジェルネイル検定初級/ブライダルコーディネート技能検定 / セルフメイク検定/メイクアップ技術検定1級							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入		単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
		74 単位		30 単位	単位	44 単位	単位	単位
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)	中退率		
80 人	41 人		0 人		0 %	8 %		
就職等の状況	■卒業者数(C)		32 人					
	■就職希望者数(D)		32 人					
	■就職者数(E)		32 人					
	■地元就職者数(F)		25 人					
	■就職率(E/D)		100 %					
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		78 %					
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		100 %					
	■進学者数		0 人					
	■その他							
	(令和7年度卒業生に関する令和7年5月1日時点の情報)							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価:				無			
	※有の場合、例えば以下について任意記載							
当該学科のホームページURL	評価団体:				受審年月:		評価結果を掲載したホームページURL	
	https://www.rad.ac.jp/beauty/							
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)							
	総授業時数		単位時間					
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		単位時間					
	うち企業等と連携した演習の授業時数		単位時間					
	うち必修授業時数		単位時間					
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		単位時間					
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位時間					
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位時間					
	(B: 単位数による算定)							
	総単位数		74 単位					
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数		11 単位						
うち企業等と連携した演習の単位数		0 単位						
うち必修単位数		52 単位						
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数		2 単位						
うち企業等と連携した必修の演習の単位数		0 単位						
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)		1 単位						
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者		(専修学校設置基準第41条第1項第1号)		3 人			
	② 学士の学位を有する者等		(専修学校設置基準第41条第1項第2号)		1 人			
	③ 高等学校教諭等経験者		(専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0 人			
	④ 修士の学位又は専門職学位		(専修学校設置基準第41条第1項第4号)		0 人			
	⑤ その他		(専修学校設置基準第41条第1項第5号)		0 人			
	計				4 人			
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数				3 人			

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・挨拶と掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・教育課程編成委員会によって業界ニーズや産業振興の方向性を把握・分析し、必要な知識・スキルを身に付けカリキュラムを編成する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会はルネサンス デザイン・美容専門学校 教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和8年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
中野 勘次郎	ルネサンス デザイン・美容専門学校 学校長	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
中野 良太	学校法人爽青会 副理事長	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
藤原 研一	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教頭	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
竹田 侑里	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
森田 瑠璃子	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
内山 理菜	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
阿部 恵美	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
落合 拓弥	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
和田 東洋	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
米山 ちほ	ルネサンス デザイン・美容専門学校 事務局	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
隈井 清次	イズモ株式会社 総務部 人事課 係長	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	③
中井 香織	株式会社ネイルズユニークオブジャパン 役員	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	③
中西 裕	コーセー化粧品販売株式会社 静岡エリア採用担当	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	③
堀 きよ子	ESGR A/&Rose株式会社 代表取締役	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	①

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (9月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和8年9月18日 13:30～15:00

第2回 令和9年2月4日 13:30～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

本学科の「感動接客人教育」を目指すべく、昨年度のご意見を実施するための授業を新設し実施した。接客人として早期意識の確立を行うため、頂いたご意見のもと、1年次より特別講師をお呼びして、テーマ性を持ってカリキュラムを実施した。また、2年生に関しても、「サロンワーク」の授業を拡大し、意識の構築からスタートした。これも、ご意見をもとに必要なテーマに基づいた特別講師や授業を展開し意識の構築を図った。一方今後の検討課題としては、これらの成果を図るのは、就職後になってしまう。この内容が適切であったかを早期に判断できる方法または、授業内容も含めて課題としたい。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学科目的である「ブライダル・美容を通じて、「美しさ」と「幸せ」と「付加価値」を届けます」に基づき、技術と知識だけではなく、本科の考える「付加価値(気づきや、思いやり、想像性、コミュニケーション能力、エンタメ性)」を接客面で届けられ、心地よいサービスを提供するために必要な力を身に付ける授業を依頼する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

業界の求める知識水準を指導できる講師を提携企業から派遣してもらう。学内での実習を基本とし、必要に応じて外部実習を取り入れる。また、企業様と連携し長期現場実習を行う。①主体性②実行力③課題発見力④資格目標⑤専門知識の観点で評価を依頼する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連 携 企 業 等
共創コミュニケーション	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	「感動接客人教育」をテーマに社会人に必要なコミュニケーション力、接遇、夢を叶える方法、お客様視点の仕事をする必要性を特別講師にて講義頂き、自分ができる手法を学ぶ。	株式会社ビューティースマイル
ブライダル実習	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	結婚式場やドレスサロンにて現場実習を実施。平日業務(お式準備、ご案内サポート等)と土日業務(お式本番、お客様案内)を現場で実践を通して学ぶ。	株式会社ノバレーゼ
経営学	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	企業の仕組みや経営に関する内容を学び、マーケティングからターゲット設定を経て商品企画を行い実践的に学ぶ。	株式会社 呉竹荘ホールディングス
海外授業(ハワイ)	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	国内だけでなく、他国の文化に触れ、自身の幅を広げると共に、今後、接客人としてお客様にサービスを提供する上で、「サービスやおもてなし」で評価の高い施設にて「何が素晴らしい接客なのか」を体感し、意識を高める。更に、これまで実践を重ねてきた「サロンワーク」との差を学び、卒業後に活かす。また、「海外リゾート」の代表的な地で、多文化のプロやサービスを知り、知識の幅を広げる	ワタベウェディンググループ株式会社

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。

研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：静岡県新任教員研修

期間：2026年8月5日

内容 教員としての教員力や授業力の基本を学び、質の高い教育を行う。

連携企業等：静岡県専修学校各種科学校協議会

対象：2年目教員

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：

期間：

内容

連携企業等：

対象：

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：

期間：

内容

連携企業等：

対象：

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：専修学校各種学校新任教員研修

期間：令和7年8月1日～令和7年8月7日

内容 指導力を初め、授業の作り方や学生への理解を深めるための、授業運営の基礎が習得できる。

連携企業等：静岡県専修学校各種科学校協議会

対象：新任教員

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針
就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	(11)国際交流(必要に応じて)

※(10)及び(11)については任意記載。
(3)学校関係者評価結果の活用状況
評価結果を学校長に報告の上、教務統括部長が中心となりプロジェクトチームを組んで改善を図り、次回学校関係者評価委員会にて報告している。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 副会長	令和7年4月1日～令和9年3月31日	業界・団体
望月智	株式会社ジェットスタジオ 取締役	令和7年4月1日～令和9年3月31日	企業等
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和7年4月1日～令和9年3月31日	企業等
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事	令和7年4月1日～令和9年3月31日	業界・団体

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())
URL: https://www.rad.ac.jp/html/document/document/report_rad2025.pdf
公表時期: 2026年6月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革(公式WEBサイト)
(2)各学科等の教育	学科紹介(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(3)教職員	講師・設備(公式WEBサイト)
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職実績(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(5)様々な教育活動・教育環境	授業ブログ(公式WEBサイト)
(6)学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ(公式WEBサイト)
(7)学生納付金・修学支援	募集要項(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(8)学校の財務	財務計算に関する書類(公式WEBサイト)
(9)学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書(公式WEBサイト)
(10)国際連携の状況	—
(11)その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他(説明会での説明))

URL: <https://www.rad.ac.jp/document/>

公表時期: 随時

授業科目等の概要

(専門課程(文化・教養関係) ブライダル・トータルビューティ科)																		
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所			企業等との連携			
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・技実習・実	校内	校外	専任		兼任		
1	○			清掃と挨拶Ⅰ	本校の行動の原点である「明るいあいさつ、人より早く」「使う前よりきれいな、トイレ清掃」や日頃の清掃・整理整頓を実践し、社会で真に役立てる人材となることを目指します。				1	1	1	○				○	○	
2	○			ルネサンス・メソッド	学生自身の「ジブン価値」を発見・向上（UP）させ、自立・自活した「卒業後に真に役立つ人材、自ら問題解決が出来る人材」へと成長するために、「社会人力」と「人材を育てる」方キョウム。「本校の使命」に明示された心得や良き習慣を、双方向体験学習・映像・学外見学などの多様な教育手法を用いて学びます。				1	2	2	○				○	○	
3	○			LHRⅠ	専門分野以外で社会人に必要な一般常識習得やコミュニケーション能力向上をLHR形式で習得します。また、学校行事やクラス内イベントの準備、スケジュールや連絡事項の確認も行います。	1	2	2	○			○	○					
4	○			キャリア研究	5年後10年後の目標に向けた職業計画や、自分自身の過去を振り返っての自己分析を行います。また学んだことを活かす職種や業界の研究を行い、就職活動に活かします。	1	2	2	○			○	○					
5	○			接遇マナーⅠ	挨拶、所作、身だしなみを始め、対応力を基本とした、内面的・外面的な美しさが自然に表現でき、業界の見本となる姿勢に作り出します。また、サービス後のアフターフォローについて理解を持ち、サービスに必要な知識と技術を「サービス接遇検定2級」の取得を以て身に付けます。	1	3	3	○			○		○				
6	○			心理学	お客様の購買心理や会社における人間関係の構築まで、円滑にコミュニケーションを図るためのノウハウや行動心理に隠された、お客様の思いを理解する事を目指します。	1	2	2	○			○		○				
7	○			パソコンスキル	パソコンの基礎的な使い方および、プレゼンテーションにおける手法を身に付けます。また、ビジネスソフトWord、ExcelやPowerPointの使い方を学び、社会人として必要なPCスキルを身に付けます。	1	1	1	○			○	○					
8	○			共創コミュニケーション	接客における基礎教養を高める授業。接客の意味や意義を理解するべく、接客の本質、印象を良くする理由、なぜ良い技術が必要なのか、サービスとおもてなしの違い、商品ストーリーを知る等の内容を、特別講師により身に付けて行く。	1	1	1	○			○	○	○				
9	○			パーソナルカラーⅠ	色の種類や色の原理を始め、人の印象に関わるパーソナルカラーを学び、業界における色彩を必要とする場面での「選ぶ力」を習得します。また、色彩検定パーソナルカラー検定3級の取得を目指します。	1	1	1	○			○		○				
10	○			ブライダルⅠ	基礎知識（定義・法律）、婚約の形式・流れ、ブライダルプランナー業務、ブライダル業界の種類、ブライダル業界の役割を学び、ブライダル業界の大枠を学びます。また、模擬挙式の実施を通し知識理解を確実に定着させます。	1	5	5			○	○		○				
11	○			メイクⅠ	メイク理論や顔の構造理論を学び知識を習得し、メイク用品の扱い、スキンケア、ベース作りを中心に、ポイントメイクの基礎を身に付け、シェーヴウエムメイクアップ技術検定の習得を目指します。	1	3	3			○	○		○				
12	○			エステⅠ	お互いの肌を使って、ボディマッサージとフェイシャル技術の基礎を身に付け、正しいマッサージ法や正確な手順を学びます。更に、エステティシアンに必要な皮膚学や技術理論の基礎知識習得を目指します。	1	3	3			○	○						
13	○			ネイルⅠ	ベースックな爪のお手入れから、ネイル用品の扱い、爪に関する知識（構造・衛生管理・病気等）、カラーリングなど基本技術を身に付け、日本ネイリスト技能検定3級とジェルネイル検定初級の取得を目指します。	1	3	3			○	○		○				
14	○			ヘアーⅠ	ヘアマキーンを使用しての反復練習を行い、基本的な道具の使い方、髪の流れやまとめ髪の基本である夜巻巻などのアップスタイル術、また自身に施す簡単なアレンジ術を習得します。	1	3	3			○	○		○				
15	○			着付けⅠ	和装の入門である浴衣の着付けを自装・他装共に習得し、留袖、袴、振袖等、ブライダル・ビューティー業界全般で活躍するための基礎技術を習得します。	1	3	3			○	○		○				
16	○			衣裳Ⅰ	人をより良く魅せるための手法のひとつである「洋服」と「ウェディングドレス」を使って、お客様に似合うアイテムの種類や基本知識である体型・TPQ・色柄・素材・シルエットの知識を用いて、コーディネートテクニック向上を目指します。	1	1	1			○	○		○				
17	○			インナービューティーⅠ	身体「健康美」を目指します。美の根源となる「女性としての健康」を究み、健やかに生活するための習慣をベルヴィス®の精神をもとにキレイな姿勢、スタイル維持を身に付け、女性特有の健康維持を促します。	1	1	1			○	○		○				
18	○			サロンワークⅠ	お客様の来店から退店までの一連の流れを理解し、ロールプレイングをもって実践ができるよう学びます。様々な工程の意味、所作や印象を理解することで、2年次に実施する実践型サロンワークに繋がります。	1	1	1			○	○		○				
19	○			進級試験対策	修了試験の対策を行います。修了試験とは、1年間の学習成果として7分野の修了試験（実技又は知識、科目によっては両方）を行い、進級レベルの達成度を計り、2年への進級認定を受けます。合格条件は、全試験の合格となります。	1	1	1			○	○		○				
20	○			インターンシップ	自らの専攻や将来の職業に関連した就業体験を行う活動です。授業で得た知識を企業実習の場で活用し、その後の就職のビジョン、働く意義、社会に出る前の自らの課題が就業体験をする事により明確になります。	1	1	1			○	○	○	○				
21	○			清掃と挨拶Ⅱ	本校の行動の原点である「明るいあいさつ、人より早く」「使う前よりきれいな、トイレ清掃」や日頃の清掃・整理整頓を実践し、社会で真に役立てる人材となることを目指します。	2	1	1	○			○	○					
22	○			LHRⅡ	専門分野以外で社会人に必要な一般常識習得やコミュニケーション能力向上をLHR形式で習得します。また、学校行事やクラス内イベントの準備、スケジュールや連絡事項の確認も行います。	2	2	2	○			○	○					
23	○			就職実務	就職活動に対する先生との個別相談をはじめ、就職活動のスケジュール確認、面接対策や履歴書作成のブラッシュアップなど、希望企業への内定獲得に役付た準備授業です。	2	1	1	○			○	○					
24	○			接遇マナーⅡ	1年次に身に付けた基礎を、より実践的にお客様へのマナーとホスピタリティを考え実行できるよう身に付けます。更に、社会や就職活動における実践マナーも習得し、サービス接遇検定準1級の取得を目指します。	2	2	2	○			○		○				
25	○			パーソナルカラーⅡ	色選別の判断基準となる色素の捉え方やTPQ別コーディネート方法など、応用知識の習得、お客様へのアドバイス方法や販売・サービス業での活用方法を理解し、色彩検定パーソナルカラー検定2級合格を目指します。	2	1	1	○			○		○				
26	○			サロン企画	企業の仕組みや業績拡大の構造、店舗経営、会社経営に関わるお金の仕組み、商品開発、サロン作りに至るまで、サロン運営に必要な知識を習得し、経営目線を学びます。	2	1	1	○			○		○				

27	○	POP広告	店舗・商品・イベントに関するフライヤーデザインをパソコンを使用し、自ら考えデザインし、時代に合った制作・デザインスキルの取得を目指す。	1	○	○	○	○	○
28	○	メイクⅡ	メイク技術の応用として、ポイントメイク・フルメイク・カウセリングメイク・イメージメイクの技術を身に付け、各場面でお客様へ応用できるようなります。また、メイクアップ技術検定1級の取得を目指す。	2	○	○	○	○	○
29	○	パーソナルビューティー	お客様が求めるメイクを理解し分析し、どんなメイクや商品を提案すべきかを考え、提案し、技術又は接客を通して提供できるようにスキルを磨きます。また、男性のお客様にも対応できる知識も学びます。	2	3	○	○	○	○
30	○	ネイルⅡ	ネイル業界で必要なネイル検定2級の技術（チップラップ等）とジェルネイル検定中級の技術（ジェル長出し）を習得し、ネイル検定2級を目指します。また、現場で必要となるジェルネイルや立体アートテクニックを学び、デザインの幅を広げます。	2	5	○	○	○	○
31	○	ヘアⅡ	多様なヘアデザイン技術を習得し、TPO・衣装に合ったヘアアレンジの提案、カウセリング方法を、セットアップ、ヘアセットチェンジ術までの応用技術を習得します。	2	1	○	○	○	○
32	○	インナービューティーⅡ	身体の「健康美」を目指します。美の根源となる「女性としての健康」を育み、健やかに生活するための習慣をベルヴィスの精神をもとにキレイな姿勢、スタイル維持を身に付け、女性特有の健康維持を促します。	2	1	○	○	○	○
33	○	カウセリングⅡ	お客様へ商品・デザインを提供するために状況やお客様の希望、価値、引き出すためのテクニックとなるカウセリング。お客様へのヒアリング方法と情報活用方法を実践的に学び、カウセリングテクニックの基礎を習得します。	2	1	○	○	○	○
34	○	サロンワークⅡ	ビューティー業界全般のサロン運営を実践的に扱い、予約業務から当日の施術、施術後のアフターフォローに関する流れ、マナーや配慮方法を習得し、即戦力としてサロンで活躍できる実践力を身に付けます。	2	3	○	○	○	○
35	○	化粧品学	美容皮膚科学、化粧品学の基礎知識、法律など体系的に専門的な化粧品や美容の知識を学び、肌質に応じた化粧品やメイク方法だけでなく、年齢、皮膚、食事、環境、睡眠など美肌に影響を与える要因についての基礎知識を習得します。化粧品検定2級取得を目指します。	2	2	○	○	○	○
36	○	食育	美容・健康に関わる、食育や栄養について基礎知識を学び、美容と食事の関連性を理解します。そして、お客様へ補足提案となる知識を習得します。	2	1	○	○	○	○
37	○	作品制作・フットネイル	（作品制作）これまでに学んだ美容技術を活かして、美意識を高めるべく、「作品」というツールを使い、表現し伝える作業を実践的に行います。（フットネイル）フットネイルのケア方法や知識を習得し、カラーリング方法を学びます。	2	1	○	○	○	○
38	○	比較文化研究	海外授業で訪問する国を題材に、固有の歴史・文化とブライダル・美容の関連性について研究することにより日本に暮らす人々の人間として世界に向けて何を発信すべきを探ります。	2	1	○	○	○	○
39	○	海外授業	比較文化研究と連動しながら、海外のブライダル・ビューティーや文化を体験する授業です。事前に訪問国の文化、民族、習慣等の学びから、現地で専門分野の授業を経て帰国後のレポート提出までを単位化とします。	2	1	○	○	○	○
40	○	卒業制作	2年間の学習成果として「団体制作」と「個人制作」を行い、専門課程修了の認定を受けます。	2	3	○	○	○	○
41	○	清掃と挨拶Ⅱ	本校の行動の原点である「明るくあいさつ、人より早く」「役所よりきれいな、トイレ清潔」や日頃の清掃、整頓整頓を実践し、社会で真に役立つ人材となることを目指します。	2	(1)	○	○	○	○
42	○	LHRⅡ	専門分野以外で社会人に必要な一般常識習得やコミュニケーション能力向上をLHR形式で習得します。また、学校行事やクラスイベントの準備、スケジュールや連絡事項の確認も行います。	2	(2)	○	○	○	○
43	○	就職実務	就職活動に対する先生との個別相談をはじめ、就職活動のスケジュール確認、面接対策や履歴書作成のブラッシュアップなど、希望企業への内定獲得に向けた準備授業です。	2	(1)	○	○	○	○
44	○	接客マナーⅡ	1年次に身に付けた基礎を、より実践的にお客様へのマナーとホスピタリティを考慮実行できるよう身に付けます。更に、社会や就職活動における実務スキルも習得し、サービス検定合格率1級の取得を目指します。	2	(2)	○	○	○	○
45	○	パーソナルカラーⅡ	色選びの判断基準となる色素の捉え方やTPO別コーディネート方法など、応用知識の習得。お客様への下地ケア方法やパーソナルカラーズ業でのケア方法を理解し、色彩技能パーソナルカラー検定2級合格を目指します。	2	(1)	○	○	○	○
46	○	BC技能検定試験対策	ブライダル業界で必要な知識として、業務・サービス・予約〜婚礼・婚礼直前までの定義と役割を習得し、ブライダルコーディネーター技能検定（国家検定）の取得を目指します。	2	(1)	○	○	○	○
47	○	ブライダル実習	1・2期3コマ（金曜日午後、土日どちらか終日）を結婚式場やレストランにて現場実習を実施します。平日実務（お式準備、ご案内サービス等）と土日業務（お式本番、お客様案内）の現場実践を通して、現場理解と実践力を学びます。	2	(7)	○	○	○	○
48	○	ブライダル知識	現場業務と対応する新規接客（ヒアリング〜コーディネーター、お打合せ（回席の説明・提案）、テーブルセッティング〜アフターフォロー）の知識を学び、現場業務の知識面を深めます。	2	(2)	○	○	○	○
49	○	ブライダル実践	「ブライダル知識」で学んだ内容を、実践を通してアウトプットできるように練習していきます。2つの授業を連携させ「学ぶ」→「身に付ける」までを徹底的に行います。	2	(2)	○	○	○	○
50	○	衣装Ⅱ	婚礼衣装（和装以外）の知識とコーディネート、フィッティング技術を学び、お客様に最適な衣装選びの基礎を習得します。また、トレンドやオウトクチュール知識の理解として、個別のデザイン特性も学びます。	2	(2)	○	○	○	○
51	○	経営学	ブライダル企業の経営から考えた、マーケティング、集客方法、新商品開発等をチームワーク（会社を想定）をもって実践的に学び、ブライダル業界の経営に関する基本知識を理解します。	2	(2)	○	○	○	○
52	○	感性向上実習	ブライダルを表現する上で欠かせない、「様々なものへの興味」を向上させます。お客様の「心からの結婚式」を理解する材料収集や「初めての経験」を通して「興味」、「理解の幅」を広げ経験値を高めます。	2	(1)	○	○	○	○
53	○	ペーパーアイテム	招待状や席次表などのペーパーアイテムの知識やデザインの方法を理解し、基本的な作成技術をデジタルを用いて習得します。	2	(1)	○	○	○	○
54	○	ブライダルブライダルメイク	新婦・参列者の婚用ヘアメイクのテクニックを学び、婚礼の各場面や立場を考えたヘアメイクテクニックを理解します。また、衣装や金物の特徴を考えたコーディネート方法をアドバイスができるよう、知識も深めます。	2	(1)	○	○	○	○
55	○	ブライダルデッサン	自身のイメージを視覚化し、お客様への提案をデザインを通じて伝えられる事を最終目的とします。また、空間を把握し、その空間に適したサイズ感で物を捉え、接客レベルと提案レベルの向上を図ります。	2	(2)	○	○	○	○
56	○	フラワー	婚礼には欠かせない、フラワー分野「ブーケ」「装花」の知識を実践的に学びます。また、生花の管理方法、トレンドやトレンドを学び、お客様との内装なコミュニケーションが図れるよう学びます。	2	(1)	○	○	○	○

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
ルネサンス デザイン・美容専門学校		平成7年3月20日		中野 勤次郎		〒 430-0943 (住所) 静岡県浜松市中央区北田町130-12 (電話) 053-452-2121		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人爽青会		平成20年3月21日		理事長 中野 勤次郎		〒 430-0943 (住所) 静岡県浜松市中央区北田町130-12 (電話) 053-452-2121		
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度	
衛生	専門課程(衛生関係)		美容師科		平成30(2018)年度	-	令和 1(2019)年度	
学科の目的		美容師国家資格取得を通して、お客様と自分自身の美容ライフが豊かになるための技術・知識サービスを考えられる美容師の育成						
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)		取得可能資格:ジェルネイル検定/ヘアケアマイスター/まつ毛エクステンション検定/美容師国家試験						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入		単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
		90 単位		37 単位	単位	53 単位	単位	単位
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)	中退率		
60 人	45 人		0 人		0 %	4 %		
就職等の状況	■卒業者数(C)		26 人					
	■就職希望者数(D)		26 人					
	■就職者数(E)		26 人					
	■地元就職者数(F)		14 人					
	■就職率(E/D)		100 %					
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		54 %					
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		100 %					
	■進学者数		0 人					
	■その他							
	(令和 7 年度卒業者に関する令和8年 5 月 1 日時点の情報)							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価:		無					
	※有の場合、例えば以下について任意記載							
当該学科のホームページURL	評価団体:		受審年月:		評価結果を掲載したホームページURL			
	http://www.rad.ac.jp/hair/							
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)							
	総授業時数		単位時間					
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		単位時間					
	うち企業等と連携した演習の授業時数		単位時間					
	うち必修授業時数		単位時間					
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		単位時間					
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位時間					
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位時間					
	(B: 単位数による算定)							
	総単位数		90 単位					
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数		53 単位						
うち企業等と連携した演習の単位数		0 単位						
うち必修単位数		68 単位						
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数		31 単位						
うち企業等と連携した必修の演習の単位数		0 単位						
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)		0 単位						
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者		(専修学校設置基準第41条第1項第1号)		1 人			
	② 学士の学位を有する者等		(専修学校設置基準第41条第1項第2号)		0 人			
	③ 高等学校教諭等経験者		(専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0 人			
	④ 修士の学位又は専門職学位		(専修学校設置基準第41条第1項第4号)		0 人			
	⑤ その他		(専修学校設置基準第41条第1項第5号)		2 人			
	計				3 人			
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数				3 人			

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・挨拶と掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・教育課程編成委員会によって業界ニーズや産業振興の方向性を把握・分析し、必要な知識・スキルを身に付けカリキュラムを編成する。
- ・企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会はルネサンス デザイン・美容専門学校の教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和8年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
中野 勘次郎	ルネサンス デザイン・美容専門学校 学校長	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
中野 良太	学校法人爽青会 副理事長	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
藤原 研一	ルネサンス デザイン・美容専門学 教頭	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
竹田 侑里	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
森田 瑠璃子	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
内山 理菜	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
阿部 恵美	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
落合 拓弥	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
和田 東洋	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
米山 ちほ	ルネサンス デザイン・美容専門学校 事務局	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年)	—
大澤 尚也	株式会社ブロッサム	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	③
鈴木 宏征	M'sConnection	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	①

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、3月) 外部委員検討中

(開催日時(実績))

第1回 令和7年11月20日 16:30～16:30

第2回 令和8年3月11日 16:00～17:30/ 令和8年3月25日 16:30～18:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

① 選択制「カスタム授業」(6科目)の評価および今後の方向性について

選択制「カスタム授業」は、学生の将来性を広げる教育として高い評価を得た。その上で、入社直後に必要な「現場適応力」のさらなる強化に向け、以下の提言がなされた。

既存科目については、資格取得に留まらず、ブライダルヘアメイクとメイクの統合、デッサンからSNS作品撮影へのシフト、ヘアケアや接客マナーの強化など、サロンワークに直結する実践的再編が求められた。また、若手の離職防止や高単価化に対応するため、カット、カラーリスト、メンズ、最短スタイリスト育成(プロ)等の「専門特化型コース」の新設が提案された。これらを踏まえ、現場の即戦力需要に応えるべく、カリキュラムの再編成および新コース導入を検討する。

②若手スタッフに不足しているスキルと、学校で強化すべき教育内容について

現場の状況として、若手スタッフにおけるカウンセリング等のコミュニケーション力、サロンワークでのスピードや段取り、SNS発信力、メンタル管理能力の不足が指摘された。これらを補い即戦力化を図るため、学校教育において実践的カリキュラムを強化すべきとの意見がなされた。

具体的には、ロールプレイを用いたカウンセリング実習や時間制限を設けたスピード技術訓練のほか、撮影から投稿までを網羅するSNS授業、人間力・メンタル教育の導入が提案された。さらに、最新薬剤やカラー理論等の実務に直結する知識の強化も求められており、これらの要望を反映した次年度以降の教育課程の改訂を検討する。

③学生の長期就労を支えるために、学校で伝えるべきことと就職指導のあり方について

学生の長期就労を支援するため、学校現場で「働く意味や意義」を教職員が共通認識を持って伝えることや、就職指導のあり方を再考すべきとの指摘があった。具体的には、学生の精神的支えとなるメンター教育や、自立を見据えたマナーリテラシー教育の導入により、早期から確固たる職業観を醸成すべきとの意見がなされた。

これらを踏まえ、就労意識の向上および早期離職防止に向けたカリキュラムの充実を図ることとした。その初年度の取り組みとして、令和8年10月に「メンターアカデミー」より外部講師を招聘し、本校初となる「メンター講話」を実施して、主体的なキャリア形成を促す教育基盤を構築する

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学科目的である「基礎力と人間力を土台に、長く業界で活躍できる美容師の育成」に基づき、美容師国家試験100%合格と、即戦力となために必要な知識・技術・接客力を身に付ける授業を依頼する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

県内・県外の美容室や教育関係企業から実際の現場の声や最新の情報、業界のニーズを学び知識や実践的授業を実施し、直接改善点と成果評価を頂き、技術、実践力を養う。更に他業種の分野の知識を学ぶことで、幅広い教養を身に付ける。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連 携 企 業 等
選択必修Ⅱ (ビューティーエデュケーション)	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	美容に関することはもちろん、様々な分野の経験を通して知見を広げます。また、接客の幅を広げ、お客様対応に必要な感性と教養を向上させる。	浜松医療学院
選択必修Ⅱ (ヘアケア)	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	美容師にとって最も身近な存在である「ヘア」に関する知識をより深く学びます。また、昨今のヘアケアに対するニーズの高まりに対応できるよう、現在、現場で使用されている技術を習得します。	株式会社白兎
選択必修Ⅰ (LHR)	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	学生の長期就労を支援し、早期離職を防止するため。技術習得に留まらず、学校現場において「働く意味や意義」の理解を深め、確固たる職業観と高いモチベーションを早期に醸成する	mentor academy
美容実習	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	デザインの考え方、骨格に合わせたスタイルの見極め方、カット技術について、講義とデモンストレーションを通して学ぶ実技講習	株式会社オブ
選択必修Ⅰ (City&Guilds)	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	モデルを使った実践的な授業を行い、現場で「即戦力」となれる接客力や技術力、対応力を身に付けます。また、国際美容技能試験に合格することで国際美容技能認定証が発行されます。	株式会社セイファート エグザミネーションサロン

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名： 東海地区理容美容学校協議会教職員研修

連携企業等： 東海地区理容美容学校協議会

期間： 2025年11月22日

対象： 常勤教職員

内容 「自分の中にある、タレント力と出会い人気教員へ」「吉本芸人直伝！トークのプロに学ぶ相手を喜ばせる5つの秘訣」「モチベーションコントロールと組織論と言葉の重要性」をテーマに美容業界に関係が深い問題への対策、解決策を学び、教職員の視野を広げる

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名： 職業教育振興会新任教員研修

連携企業等： 公益社団法人 静岡県職業教育振興会

期間： 2025年8月1日～8月7日

対象： 常勤教職員

内容 ・専修学校・各種学校の教員としての資質向上
・教育活動に不可欠な基礎的知識・指導技術(授業運営、学生指導、学級経営など)の習得
・教員としての使命感の醸成と、学校現場での即戦力化

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名： 教員研修会

連携企業等： 東海地区理容美容学校協議会

期間： 2026年11月20日

対象： 常勤教職員

内容 美容師教員の知識やトレンド又は、指導における視野の幅を広げる事を目的とし、東海4県の合同研修会

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名： 職業教育振興会新任教員研修

連携企業等： 公益社団法人 静岡県職業教育振興会

期間： 2026年8月3日～8月6日

対象： 常勤教職員

内容 専修学校教員として必要な基礎的知識を習得

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針
就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	(11)国際交流(必要に応じて)

※(10)及び(11)については任意記載。
(3)学校関係者評価結果の活用状況
評価結果を学校長に報告の上、教務統括部長が中心となりプロジェクトチームを組んで改善を図り、次回学校関係者評価委員会にて報告している。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 副会長	令和7年4月1日～令和9年3月31日	業界・団体
望月智	株式会社ジェットスタジオ 取締役	令和7年4月1日～令和9年3月31日	企業等
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和7年4月1日～令和9年3月31日	企業等
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事	令和7年4月1日～令和9年3月31日	業界・団体

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())
URL: https://www.rad.ac.jp/html/document/document/report_rad2025.pdf
公表時期: 2026年6月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革(公式WEBサイト)
(2)各学科等の教育	学科紹介(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(3)教職員	講師・設備(公式WEBサイト)
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職実績(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(5)様々な教育活動・教育環境	授業ブログ(公式WEBサイト)
(6)学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ(公式WEBサイト)
(7)学生納付金・修学支援	募集要項(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(8)学校の財務	財務計算に関する書類(公式WEBサイト)
(9)学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書(公式WEBサイト)
(10)国際連携の状況	—
(11)その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他(説明会での説明))

URL: <https://www.rad.ac.jp/document/>

公表時期: 随時

授業科目等の概要

[illegible]

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件:	卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1学年の学期区分	2期
履修方法:	必修/選択必修科目を対面またはオンラインにて受講	1学期の授業期間	1期:4/1～8/31 2期:9/1～3/31

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合には、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。